

# 立命館経済學

第 39 卷 第 1 号

1990年4月

---

## 内 容

### 論 說

いわゆるパリ・ノートと

『経済学・哲学草稿』について……………岡崎栄松 1  
——「ラーピン論文」公表以前を中心として——

展望：リカード的成長モデルの諸形態……………堂目卓生 56

準市場経済（Quasi Market Economy）と

ヘクシャー=オリーン・モデルの限界（下）……………小野進 87

### 研 究

ケネディ政権下の税制改革……………飯野公央 132  
——その背景と政策意図——

### 学位論文審査報告

伍賀一道『現代資本主義と不安定就業問題』…………… 154

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第38巻・第4・5号

小牧聖徳教授退任記念論文集

内 容

- 小牧聖徳教授退任記念論文集の刊行にさいして……………松 野 昭 二  
江戸期貨幣制度の一考察……………三 上 隆 三  
日本経済の「構造調整」と財政投融资……………梅 原 英 治  
——対米ファイナンス問題を中心に——  
近代天皇制と労働行政……………三 好 正 巳  
現代世界経済と社会主義貿易……………岩 田 勝 雄  
1980年代以降におけるマネーサプライ  
管理政策の有効性について……………河 野 快 晴  
わが国の賃金弾力化と資本蓄積……………横 山 政 敏  
——構造調整のもとでのわが国賃金運動の特徴——  
貨幣需要関数の安定性……………平 田 純 一  
——昭和40年代と50年代との対比を中心に——  
米加自由貿易協定とカナダ農業……………松 原 豊 彦  
経済学新造語と私……………小 牧 聖 徳  
小牧聖徳教授の略歴と著作目録

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第38巻・第6号

論 説

- 新経済政策（NEP）後のマレーシア経済の展望……………西 口 清 勝  
——マレーシア経済学会第10回大会での研究報告の検討——

- 公共部門と貿易構造……………阿 部 頭 三

研 究

- 利潤率低下と利潤量増大の「二面的法則」と恐慌論……………増 田 和 夫  
——J. S. ミルの利潤率低下論をとおして——

- 産業組織のグローバリゼーション……………肥 塚 浩

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会